

富山県神社庁長賞

富山市立八幡小学校 四年 原田 晃吉

『しめ縄づくりに参加して』

ぼくは去年の十二月六日に富山けんごくく神社でしめ飾りを作ってきました。

お正月飾りについても学んできました。

たとえば門松は年神さまが来るのに、ひつような目印です。次に鏡餅は年神さまの魂が宿る大切な供物でその鏡餅をぼくたちが食べることで健康な一年をすごすことができます。

そしてしめ飾りは玄関にかざること、家の中が安全になるので年神さまが安心して家の中に入ることができる。

ぼくはお正月飾りにこんな意味があることは知りませんでした。その他にもお正月についてもたくさんのお話をきいてきました。

で、その後しめ飾りづくりがはじまりました。

しめ飾りにつかういねわらは昔から、岐阜県東白川村でさいばいされています。それらはしめ飾りを作るだけのために、さいばいされています。お店でうっているしめ飾りはだいたいが水草を使用しているそうです。年神さまをむかえる大切なしめ飾りをつくるならちゃんとしたわらのほうがぼくはいいと思います。

ぼくはしめ飾りを父、母、兄とやりました。各自、やくわりぶんたんをしてしめ縄づくりをしました。ぼくはしめ縄を持つ係をしました。ほかは、ねじる係、形をつくる係、しめ縄のよぶんなどころを切る係がいます。

作るのはむずかしかったけど、早く、うまくできました。

できあがりによく見る、しめ縄とはちがつて、飾りも何も無いけど、それを目印に年神さまがきてくれるといいなと思いました。

今までお正月についてあまり深く考えた事はなかったけど今回たくさんしたことについておそわったので次の正月はいろんなことを考えてすごしたいです。そしてもっとたくさんの人にお正月飾りについてやお正月の意味などを知ってもらいたいです。そのために、自分もいるんなことについて勉強していきたいし来年はみんなでしめ縄をつくりに行きたいです。